



おやまだ

特集

小山田のまちづくりについて



巻頭言

地区社協会長

日頃は小山田地区社会福祉協議会の活動に、ご理解とご協力を頂き、役員一同心より御礼申し上げます。

今年「地区まちづくり構想」も素案作成の段階まで進み、今後の展開のため、体系図を掲載しました。

地区の皆さんが一番楽しみにしている「地区運動会」が雨天等で中止となったが、代わりに「地区文化祭」が小学校体育館で盛大に開催されたことは、大変喜ばしいことでした。

なお、社協の行事については、年間行事カレンダーを各家庭に配布しますので、ぜひ皆さんにも参加して頂きますよう、お願い致します。

小山田地区社会福祉協議会

会長 古市 義勝

主な内容

P	
1	表紙 巻頭言
2-3	まちづくり構想
4-5	トピックス
6	専門部活動報告
7	表彰、小山田っ子広場
8	おやまだ桜のリフレッシュ 等

小山田地区まちづくり構想 素案

小山田地区まちづくり構想

策定委員会会長 矢田 義秀

小山田地区では、その地形的制約などから地区内の九町がそれぞれの特色を生かしながら、個性あふれるまちづくりを進めて来ました。しかし、人口減少や高齢化、地区の経済を支えてきた農業の低迷など、小山田地区を取り巻く環境は非常に厳しさを増しています。

こうしたなか、四日市市が制定した「四日市市都市計画まちづくり条例」に基づき、地区で策定した構想を市に提案することができ、制度を活用し、行政と協働でまちづくりを進めていくため、平成26年9月に「小山田地区まちづくり構想策定委員会以下「まちづくり委員会」という。」が約二年間の連合自治会による準備を経て、各団体の推薦委員や住民公募の委員が集まり発足しました。以降、月に一回程度、まちづくり委員会を開催し、「小山田地区まちづくり構想」の策定を進めて来ました。まちづくり委員会では、地区をまわり実際に現地を見ることも含め、問題点や地域資源の共有を図りながら、構想策定のために30回以上に及ぶ会議を開催しました。さらに、小学生にアンケートを実施したり、構想案を各世帯に配布し、意見募集したりすることにより、より多くの住民の声を反映するよう努めました。

その結果まとまった「小山田地区まちづくり構想」では、「世代、時代、地域を超えて『つながろう・つなげよう小山田』を基本理念大切にしたいこと」とし、将来像として『子孫に残す 元気で住み続けられるまち小山田』を目指すこととしました。まさに、小山田地区の住民がひとつにつながって、ともによりよい小山田を築いていく取り組みを進めることにより、私たちの美しいまち小山田が子や孫、そして未来へと引き継がれていくことを願うものです。



基本目標 (小山田が向かうべき大きな方向)	基本方向 (小山田が取り組むべき方向)	取組方向 (具体的な取組の方向)
1.人と人とのつながりで、だれもが安全・安心に暮らせるまち	(1)高齢者が憩い、助け合えるまちづくり	①高齢者の居場所づくり ②助け合い活動、困りごと支援 ③医療・福祉施設との連携強化
	(2)子どもが見守られ、安心して子育てできるまちづくり	①認定こども園の誘致、学童の充実 ②地域ぐるみで教育、見守り ③子育て世代の交流機会づくり
	(3)災害に強く、犯罪や事故に遭わないまちづくり	①自然災害予防の対策 ②犯罪防止のパトロール、住民の安全対策 ③通学路、狭あい道路等の整備
2.活気があり、快適に暮らせるまち	(1)地区内外が移動しやすいまちづくり	①南北方向への道路機能の強化 ②高速バス等の新たな交通手段の検討 ③その他の交通手段の活用
	(2)若者などが気軽に住める(戻ってこられる)まちづくり	①若年世帯の居住促進環境の創出 ②空き家、空き農地の活用による居住環境の整備 ③若者なども楽しめる場・機会づくり
	(3)地区内に拠点ができ、集えるまちづくり	①各種施設の集約化 ②公共施設、商工場施設の誘致 ③スポーツ施設や公園等の設置促進
3.自然や農業を通じてまとまり、つながるまち	(1)自然と美しい景観を守るまちづくり	①自然や景観の保護、活用 ②自然を活用したイベント等の実施 ③荒れ地の整備、不法投棄対策
	(2)地区全体で取り組む農業のまちづくり	①農業を生かした組織づくり ②定年後に農業ができるしくみづくり ③農業体験、農業イベントの実施
	(3)地区内外の人が新鮮な農産物を手に入れられるまちづくり	①産直(朝市)の場づくり ②産直のための組織づくり ③特産品づくり
4.ふるさと愛を育み、発信するまち	(1)地域の文化、伝統行事が引き継がれるまちづくり	①地区全体での祭り、行事の実施 ②後継者の育成
	(2)住人どうしが仲良く交流するまちづくり	①地区全体での文化祭、運動会の開催 ②外国人住民との交流
	(3)小山田地区の良いところを知り、発信するまちづくり	①地区の歴史、史跡などのマップづくり ②新たなシンボルづくり



小山田つながる

ウォーキング開催

昨年度、まちづくり委員会が中心となり、地区の自然・文化・歴史をめぐる「小山田つながるMAP」が発行されました。

三月十日に山田町内の歴史史跡をめぐるウォーキング大会が開催されました。



ラクビーのお話や特別参加の森市長との対決などもあって、楽しい一日となりました。

地区文化祭奮闘記

文化広報部長



今年度の地区文化祭は、波乱の幕開けで始まりました。文化広報部提案の「文化祭改革案」が、地区社協総会で議論紛糾して審議未了となり、再度役員会で社協会長の説得で、改革案の承認を得ることが出来ました。

- 一、会場を小学校体育館とする
- 二、作品展示とサークル発表を同会場とする
- 三、食品バザーは縮小して販売のみとする
- 四、ランドゴルフやウォークラリーなどの協賛行事は小学校周辺を会場とする
- 五、日程は十一月四日(土)午後から準備し、五日(日)一〇時〜開催することとする

初めての体育館での開催のため、経験のある人材が少ないので、先ず運営委員会を組織化し、関係団体に委員の選出を依頼し、会場の設営係や作品展示係等の分担をお願いした。

以前に近隣地区の体育館での文化祭を見学していたので、小学校の校長・教頭先生に相談しながら「体育館の配置図」を作成し、会場設営に必要な「備品調達リスト」などと共に運営委員会ですべて説明し、9月末には体育館での実地確認も実施しました。

会場準備と並行して、今回から参加要請する津田第一幼稚園・久間田保育園・岸田保育園なども訪問し、参加の了承を受けました。

十一月四日(土)午後から運営委員が各担当に分かれ会場設営に取り組み、紅白幕が会場一面に張られると「お祭り気分」が盛り上がり、明日のオープニングが楽しみとなりました。午後2時頃から展示作品の搬入が始まり、会場の一角に作品展示室が開設されました。

文化祭当日・午前の部は、子どもの発表演目を並べましたが、一番驚いたのは、「津田第一幼稚園」の幼児九〇名と、保護者一〇〇余名の観衆の多さでした。観客席に用意した一五〇席は満席となり、立ったままの父兄がスマホやビデオで撮影しているシーンは、まるで都会の小学校のような風景でした。その次に小学校上級生の合唱演奏があり、お兄さんお姉さんの歌声など感心しました。

昼休みには森市長が駆けつけて来られ、挨拶の後でドラムセットの前で、祭りの袴を着てポーズを取られたのは、さすがに若い市長さんだと、頼もしく思いました。

午後の部は、「小山田の有名芸人」のオンパレードとなり、観客席も満席近くになって、フラダンスや津軽三味線に酔いられました。

今回の反省すべき点は幾つかありますが、一つは、作品展示場所が高い紅白幕で仕切られているため、観客席や会場内から見えにくく、足を運ぶ人が少なかったことです。

次回からは、低い紅白幕で仕切ります。次に、駐車場が少な過ぎることで、特に午前の部の始め頃は、大変な混雑が発生し、交通安全の方々も苦勞されました。今後は地区全体の問題として、駐車場の確保が必要です

もう一点は、食品バザーを楽しみに来られる方も多くあり、味ご飯や助六弁当が早く売り切れ、不満を持たれた方もおられたので、次回はセンター横の食品バザーも検討します。

以上 良い点・悪い点も多々ありましたが、先ず前向きに実行することで、小山田まちづくりのスローガンである「世代・時代・地域を越えて、つなごう・つなげよう小山田」をめざして、皆様と共に頑張っていきたいと思えます。

最後になりましたが、文化祭運営にご協力を賜りました委員・関係団体の皆様に、心より御礼申し上げます。

方は団体事務局まで連
L 059-328-3320



女性部

あったか弁当



文化祭バザー



防分団優勝



保健体育部

テニボン講習



グランドゴルフ大会



表彰式



生活福祉部

ふれあいフェスタ



小山田ふれあいフェスティバル



同和

視察・研修



市内施設研修



出前講座



おやまだトピックス

写真の焼増しを希望される
絡してください。 TE

文化広報部

地区文化祭



消



青少年育成部

YPOパーティー



親子社会見学



視察・研修



人権

人権コンサート

兎追いし かの山
小鮎釣りし かの川
夢は今も巡りて
忘れがたきふるさ



各専門部の活動

保健体育部活動報告

須藤 成則

今年度の保健体育部は七月九日に行われたニュースポーツのテニボン研修会と、十月十五の地区運動会が主な行事でした。

テニボンはテニスとピンポンを合せた誰でもできる簡単なスポーツです。当日は小学校体育館に於いてスポーツ推進委員の指導を受け小学校低学年の方から七〇代の高齢者の方迄二十五名が参加し楽しく研修を受けました。

小山田地区大運動会は地区の皆さんが毎年楽しみにしており、私達部員も六月初旬より役員会、部会、全体会議等数回開いて準備して来ましたが、残念ながら当日は前日の雨でグランドコンディションが悪く開催出来ず、又次週の予備日も衆議院選挙で各施設が使用できず、開催することが出来ませんでした。

今年で四十三回目を迎え、今まで中止したケースが無いので、その後日程を模索しましたが、調整がつかず開催を断念しました。

次年度こそ、皆さんの期待に応えるように企画しますので、沢山の方の参加をよろしくお願い致します。

生活福祉部活動報告

岸本 久義

① 出前講座「知って安心、悪徳商法の手口と対処法」の開催について

私たちを取り巻く環境には高齢者をねらった悪質な手口によるサギ商法について、消費者センターの松本さんをお招きし開催しました。これらの対処法について事例を挙げ、詳しく、判りやすい内容の講演をいただいた後、質疑応答により問題の解決を図りました。

一人ひとりの暮らしを守るため、先ず情報を得ること、次に周囲に伝え地域の人々とのつながりが肝要であると感じました。

② 視察研修（四日市市クリーンセンター）の開催について

平成二十八年四月に開業した施設は、私達の生活からでる可燃ゴミ・破碎ゴミ等の処理法について視察を行い、施設の概要と近代的な設備について説明がありました。中でも長期にわたる施設の安全確保と施設に関する情報の共有化が肝要であると話された。

青少年育成部活動報告

中村 實

初めに、地域の皆様の理解と協力があつてこそ行事が行えます。心より感謝致します。

1) 祭礼補導（どちらかに参加）

7/14天王祭、8/9温泉夏まつり

2) 親子ふれあいデー

8/6リニア鉄道館・セントシシアとめんたいパーク見学 四十四名参加

3) Y・P・Oパーティー

11/18前半・小山田鼓笛隊と西陵中学校音楽部の演奏

後半・「袋の中でお米を炊こう」と

「防災倉庫の中を見る」小・中学生・一般人の六十七名参加。ハイゼックス袋に米と水を入れ、空気を抜き輪ゴムで止めてお湯に入れ、出来上がるまで三〇分間に防災倉庫の中を見学。また簡易トイレ一台を子ども達が手際良く組み立てた。

4) 出前講座

1/11ネットの安全な利用方法を学習。「知らないではすまされない！」携帯・パソコン・ゲーム機すべてはネットに繋がっており、トラブルに巻き込まれても隠さず、親や学校や警察に相談し、子供の成長に合せるルールを決めることを確認した。

5) 視察研修

1/17福井県はぐるまの家



文化広報部活動報告

山家 多喜男

今年度の文化広報部の活動目標は、『地区文化祭の改革』即ち、従来の地

区センター周辺を会場とした作品展示・食品バザー・協賛行事等と、別日程の青山里会びあホールでのサークル活動発表会（サルビア）を、小山田小学校体育館を中心にして、同日同会場で開催することで、地区運動会と共に、地区の一大行事として育てることにした。

幸い一部に反対意見もありましたが、多くの方々の賛同並びにご協力により、無事開催することが出来ました。ここに改めて感謝申し上げます。（内容の詳細は別記）

一月十三日に、山田町高若センターで女性部の炊出しによる「温ったか弁当」を、一人暮らしの方々に民生委員がお配りしました。

一月中旬から三月中旬までは、広報担当が中心となり、地区広報誌三十六号の編集に努め、三月二十日には印刷完了し、三月中には地区の皆様へ各戸配布でお届けする予定です。

女性部活動報告

北尾 喜子

女性部では今年も日々の生活に合せた活動を続けています。

秋の地区文化祭では寄せ植え教室で作った作品を展示したり、恒例の「味ご飯」の出店をしました。

1月には味ご飯を作り、民生委員と協力して一人暮らしの方々にお配りし喜んでいただきました。

おめでとうございます

◇四日市地域緑化大会(5/19)

表彰 美里町自治会

◇四日市市消防団消防操法大会

(7/19)

優勝 小山田分団

◇四日市市制施行120周年記念式典

(7/30)

四日市市制功労者表彰式

産業の発展 古川文啓(堂ヶ山町)

災害防護 伊藤忠夫(山田町)

◇四日市市スポーツフェスタ(10/8)

推進委員表彰 宮崎節夫

(山田町)

◇四日市市社会福祉大会(11/13)

協議会会長表彰 田中四郎

(六名町)

協議会会長表彰 永尾敏昭

(小山町)

協議会会長表彰 戸田典子

(内山町)

◇三重県更生保護事業顕彰式典

(11/29)

法務大臣表彰 伊藤久子

(西山町)

◇四日市市消防出初式(1/7)

県消防協会表彰精勤章

班長 倉田貴生

表彰徽章 団員 伊藤正也

表彰徽章 団員 後藤勝壽

市長表彰 部長 矢田富教

市長表彰 班長 矢田浩通

小山田っ子広場



子育てひろば活動報告

矢田 栄子

小山田地区は、保育園も幼稚園もないので、子育て世代の味方になれるように、月一回テーマを決めた子育てひろばと、月約二回のフリールームを開催しています。



市民センターや地区民生児童委員・子育てベテランのボランティアスタッフの協力を得て運営しています。テーマ内容は、育児相談や親子ふれあい体操や施設訪問・クリスマス会やお別れ会などを実施しています。またフリールームでは、ママ友やスタッフのおしゃべり会と移動児童館

による季節の工作などを行っています。○才から誰でも参加できますので、お気軽に子育てひろばをのぞいてみて下さい。毎日笑顔と笑い声でいっぱいですよ。詳しくは、ホームページ『おやまだ7』の『子育てひろば』の案内をご覧ください。

小山田小学校PTA活動

平山 正樹

小山田小学校のPTA活動は、四月下旬に始まり次年度総会までの一年間です。

一学期は、六月の親子除草に始まり、プールの救命講習、夏休みには保護者のご協力によるプール開放があります。二学期は、運動会、芋煮会、バザーと大きなイベントが沢山あり、一つ一つの行事を各専門部と本部役員が協力し、忙しいながらも達成感と充実感を味わえる期間です。

三学期は、一月にボランティアによる本の読み聞かせや、外部から講師を招いての人権講話、三月に卒業式、四月に入學式と別れと出会いを体験して、あっといふ間の一年間が過ぎていきます。

また本年度は、市P連のブロック会場校となっており、七月、十一月、翌年度の五月に市南部の十六小中学校、四幼稚園の意見交換会を開催しました。普段あまり交流のない他校のPTA役員と、貴重な意見を交わす機会を持つことができました。

西陵中学校PTA活動報告

米川 哲哉

四月二十一日にPTA総会を開催し、本年度の年間計画が決議されました。各委員及び専門部への人員を選任してPTA活動を行っています。地区委員の活動は、地区懇談会の企画・運営や通学路の安全調査及び防犯パトロールを行っています。専門部は、校外指導部として登校指導を毎月一回年十回実施しています。文化教養部は家庭教育講座を外部講師による講演会を開催し、参加者へのアンケートを実施しています。広報部は広報誌づくり研修会への参加や広報誌「西陵」の発行を年二〜三回実施しています。

体育厚生部は学年体育祭への参加協力や、制服リニューアルの推進・販売を実施。環境整備部は環境美化作業として草刈りを全保護者を対象に年二回実施しています。今後、全保護者に、PTA活動へ積極的に参加いただける環境を作りしたいと思います。



ホームページのトップ写真募集

地区ホームページ「おやまだ7」は、今から10年前に地区の有志により作成されたもので、その後は社協の管理のもとに、一部有志と団体事務所が、管理運営しています。

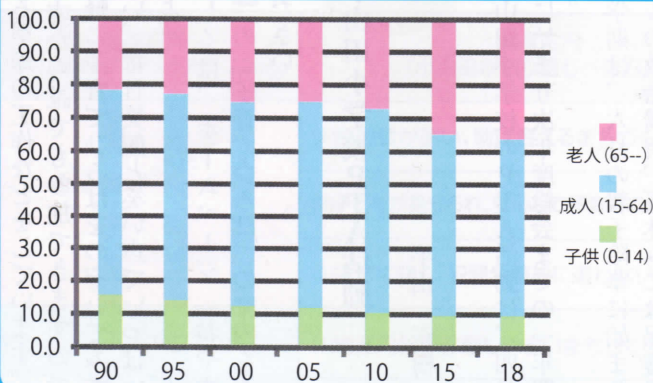
(詳細はホームページ談話室の顛末記参照)

現在「おやまだ7」は年間30万件の検索数を誇り、世界へ向って小山田の情報を発信していますが、特にトップページの写真は、第1印象として重要なものなので、地区の皆さんから写真を以下の要領で募集します。

- ①写真のテーマは、地区の行事・祭りや、四季の自然風景などを募集します。
- ②応募方法は、社協団体事務所に写真を送付するか、メールで送ってください。
メール: o-syakyo@m5.cty-net.ne.jp
- ③ここ数年の写真は、トップページのおやまだシンボルマークをクリックするとスライドショーで表示されます。



地区の人口推移図



あ と が き

今回は、「まちづくり構想」素案と、それに関連する「地区文化祭」の改革や、地区センター主催の「おやまだ桜担い手講習会」や「つながるウォーキング大会」の実施状況を掲載しました。

お忙しい中、多くの皆さんに投稿していただき、ありがとうございました。

(文化広報部長 山家 多喜男)

「おやまだ桜」リフレッシュ

地区市民センター横の桜の大木は、今から6年前の「里山公園・竹の広場」のオープン記念に、「おやまだ桜」と命名されました。当時から推定樹齢80年と伝わるソメイヨシノの古木ですが、毎年4月の「おやまだ桜まつり」では、満開の花を枝いっぱい咲かせて、地域の皆さんを楽しませています。

今年2月に、地区市民センターの地域活動事業として、樹木医による「おやまだ桜」の樹勢回復工事が実施され、また里山ボランティアや地域の有志を対象に、桜の木の保存のための「担い手講習会」が開催されました。

今年の春には、リフレッシュされた桜の満開の花の下で、「おやまだ桜まつり」を下記の予定で開催しますので、地区の皆さんの多数の参加をお待ちしております。



幹の洗浄② 前



幹の洗浄② 後

第7回「おやまだ桜まつり」開催案内

日時 4月8日(日) 10時~12時

会場 小山田地区市民センター 西広場

- 催し物**
- 1)桜見物コース 西広場⇄小学校南広場
 - 2)バザー ①桜ご飯セット ②和菓子 ③シシ肉試食等
 - 3)13時~ グランドゴルフ大会 (体育振興会共催)



地区の人口

小山田地区 町別人口					年齢別人口 30.01.01現在			
町名	世帯数	総数	男	女	年齢	総数	男	女
内山町	61	152	75	77	0~9歳	270	125	145
小山町	176	466	237	229	10~19歳	369	174	195
鹿間町	322	739	346	393	20~29歳	379	169	210
堂ヶ山町	144	403	189	214	30~39歳	405	213	192
西山町	241	607	288	319	40~49歳	588	310	278
美里町	68	171	82	89	50~59歳	565	278	287
山田町	710	1521	709	812	60~69歳	761	386	375
六名町	63	141	76	65	70~79歳	621	299	322
和無田町	129	340	165	175	80~89歳	443	177	266
計	1914	4540	2167	2373	90歳以上	139	36	103